

いつもお世話になっております。

今月分の請求書を送付いたしますので、何卒御査収のほどよろしくお願い申し上げます。

いつもありがとうございます。

12月の割にさほど寒くない日がつづき、街路樹の銀杏のなかには黄葉するタイミングを見失って、まだ緑の葉を茂らせている木もあります。季節の変わり目がぼんやりした一年だったような気がします。もうすっかり年末ですね。みなさまはいかがお過ごしでいらっしゃいますか。

朝の情報番組が、関西に冬将軍の到来を予報したある日のこと。勤務を終えた私は大急ぎで会社を出て一旦家に帰り、防寒の身支度を万全に整え奈良へ向かいしました。今年で880回を数える伝統行事「春日若宮おん祭」は、若宮の神を24時間、御旅所にて神事芸能でおもてなしするというお祭りです。なかでも、真夜中の0時に、若宮が社殿を出て1キロほど先の「御旅所」へ移る秘儀中の秘儀「遷幸の儀」を見るのが目的です。

23時ころ、駐車場を出て一之鳥居をくぐりました。奈良の夜は大阪に比べるとずいぶん暗く、星がたくさんみえていました。暗い参道を本殿の方向へと大勢の人が向かっています。木と鹿のシルエットくらいしか見えず、どの辺を歩いているのか皆目見当がつかません。歩き疲れたころ、ようやく本殿の薄明かりがみえる場所へ辿り着きました。すでに参道の両端にはずらりと人がならんでいます。私たちも後ろに続き、時が来るのを待ちました。

儀式がはじまる前に、私語や携帯やスマホ、懐中電灯などの光や音を発するものは一切を禁じられます。徐々に周囲のあかりが消され、あたりは暗闇につつまれます。冬将軍がくるといっていた割には寒くないね・・・などと言っていたんですが、そろそろ始まるかな？というころ、急に気温がさがりはじめ、あたりはただならぬ雰囲気。そして、地鳴りのような音が響きはじめ、美しい雅楽の調べがこちらにゆっくりせまってきました。

先頭の神官が大きな松明を道の両端にひきずり、火の粉で結界が描かれます。そのあとを、大勢の神官たちが若宮様の周りを幾重にも囲み進みます。行列の全員が「フォーフォー」と絶え間なく発する声が、地鳴りのような音の原因でした。長い長い行列が続く間中、うなるような声が響き渡り、異様な雰囲気圧迫されました・・・もっと詳しくお伝えできればいいのですが、なんと説明しがたく・・・もしご興味があればぜひ一度、泊りがけでご覧ください！

若宮様の行列が通りすぎた後を、しばらくして我々も御旅所へ向かって歩きました。御旅所では、若宮様に朝の御饗をお供えし神楽を奉納する「暁祭」がはじまります。平安装束の神官たちが、リレーのバトンのように手渡しで海川山野の品々をささげ、巫女さんによる舞が奉納されました。

この後、日中も様々なお祭りで若宮様をおもてなしし、23時には本殿へお還りいただく「還幸の儀」がとりおこなわれるそうです。

2015年も社員一同、大変お世話になりました。

世界を見れば天災、地震やテロなど不穏なニュースも多くありましたが、なんとか無事に一年を終えることができそうです。

みなさまのご家族、ご親族、ご友人、そしてご同僚、お取引先、ゲストの皆さまにとって2016年が心身ともに健康で平和で豊かな一年になるようお祈りいたします。

来年も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



遷幸の儀が始まる前の御旅所



御旅所での暁祭がおわったあとに。

この太鼓は左右で対になっています。



翌日は奈良の神社めぐりへ。

株式会社ユニコーン
大阪市中央区大手通 1-1-2
TEL 06-6943-4560
FAX 06-6920-5311